

速報

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

2019年(平成31年)

4月4日(木)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市泉崎1-10-3

©琉球新報社2019年

興南 7度目頂点

第66回春季
高校野球

沖水に3-1



興南-沖縄水産 1回表1死2、3塁 先制の適時打を放つ興南の宮城大弥=4日、北谷公園野球場

興南

0100110000010000

沖水

(興) 又吉、宮城—遠矢
(沖) 古波藏、石川—金良

20日、九州大会へ

高校野球の第66回県春季大会(主催・県高校野球連盟、共催・琉球新報社)の最終日は4日、北谷公園野球場で決勝戦を行い、3-1で興南が勝利した。優勝した興南は鹿児島県で開催される第144回九州地区高校野球大会(4月20〜25日)に県代表として派遣される。

興南は4年ぶり7度目の優勝を飾った。

興南は3試合に先発した又吉航瑤、沖水は古波藏悠悟が先発した。一回表、興南が勝連大稀と宮城大弥の連打で先制する。三回には勝連が四球で出塁し、宮城の安打で勝連が三塁まで進むと遠矢大雅の犠飛で追加点を挙げた。

守備では先発した又吉が四回途中まで1失点に抑える。又吉に代わりマウンドに立った宮城は1死二、三塁のピンチも相手のスクイズを外して、三走を挟殺してしのいだ。宮城は投げては6回から毎回奪三振の快投を見せた。

沖縄水産は三回裏、代打の新城安都希が安打で出塁。2死から比嘉昭寿、真栄城徳二郎の連打で1点を返す。しかしそれ以降、興南宮城の前に三振の山を築かれ、追加できなかった。

勝利を願い声援を送る沖縄水産の応援団＝4日、北谷公園野球場



スタンドから懸命に声援を送る興南の応援団＝4日、北谷公園野球場



先発のマウンドに上がり、力投する沖縄水産の古波蔵悠悟



先発のマウンドに立ち、好投する興南の又吉航瑛



高校野球関係者やファン、沖縄水産、興南両チームの応援団の多くが見守る中、決勝戦がプレイボール